

取組・活動名		「フロアバレーボール体験」 ～埼保己一学園の皆さんとの交流を通して～				
校種・学年		小学校・第6学年		教科等	総合的な学習の時間	
カテゴリー	歴史・意義	アスリート	多様性	日本人	時間・学期等	2時間 【2学期】
	国際感覚	ボランティア	伝統・文化	(その他)	準備等	
プログラムのねらい						
<p>○フロアバレーボールで全国優勝2連覇を成し遂げた強豪校の生徒との交流を通して、本物の試合を肌で感じ取る。</p> <p>○障がいの有無に関わらず、スポーツを楽しむことの出来る素晴らしさを知る。</p> <p>○障がいから来る、困難、苦労、挫折を乗り越えてきた強さ、思いを知る。</p> <p>○フロアバレーボールのルール等について知る。</p>						
児童・生徒の実態						
<p>○児童は日常生活において、全盲や弱視の方と触れ合うことはない。故に生活上における大変さを知り、理解することが難しい。</p> <p>○障がいのある方ができるスポーツの種類について、情報が乏しい。</p> <p>○全盲、弱視の方がスポーツをすることについては知らない児童が多い。</p>						
プログラムと既存の学習との関わり						
<p>○第4学年の総合的な学習の時間で、福祉について学び、その中で目の不自由な方について学んでいる。</p> <p>○全盲や弱視の方への配慮や思いやり等については学んできているが、スポーツ精神をもち生き生きと運動に取り組むことが出来る素晴らしさを殆ど知らない。</p>						
指導計画・評価計画						
【実施計画】						
1 学期：訪問日時の調整、概要打ち合わせを行う。						
2 学期：総合的な学習の時間を使って、フロアバレーボールの歴史やルールについて学ぶ。						
：全盲、弱視の方とスポーツを通して交流する。						
：事後指導として、感想をまとめ、お礼のビデオレターを通して、感謝の言葉を伝える。						
【評価計画】						
○障がいの有無に関わらず、共にスポーツを楽しむことの出来る素晴らしさを知り、楽しく交流を図ることが出来る。						
○障がいから来る、困難、苦労、挫折を乗り越えてきた強さ、思いを知り、自分の生き方を振り返ることが出来る。						
○フロアバレーボールのルール等について理解し、実践することが出来る。						

本時の学習指導

(1) 本時の目標

- フロアバレーボールというスポーツについて知り、仲間と共にスポーツを楽しむ素晴らしさを得る。
- 全盲、弱視の方との交流を通し、障がいがあっても、生き生きとスポーツに取り組む精神を学ぶ。
- 障がいによる困難を乗り越えてきた強い意志や信念を知る。

(2) 展開

「フロアバレーボールを知ろう！やってみよう！」

- ① 埴保己一学園の校長挨拶並びに自己紹介
 - ・ 埴保己一学園の紹介とフロアバレーボールの活躍の様子について
 - ・ 全盲の方と弱視の方の生活について
- ② 校内見学
 - ・ 目の不自由な方のための学校のつくりや校内のルールについて
- ③ 着替え
 - ・ 体操着に着替える
- ④ 埴保己一高等部の先生による挨拶
 - ・ 先生紹介、生徒紹介、フロアバレーボールについて
- ⑤ 埴保己一学園の先生と生徒による試合観戦
- ⑥ 全盲体験
 - ・ アイシェードをつけて、様々な方向へ歩いてみる。全盲の方の世界を知る。
- ⑦ フロアバレーボールルール説明
- ⑧ 試合に必要な動きの確認
 - ・ 3人1組のチーム
 - ・ アイシェードを付けて、ネット下から来るボールをチームメイトの声をたよりに阻止する。
- ⑨ ミニ試合
- ⑩ お礼の言葉
- ⑪ 全員で記念撮影



成果	おすすめポイント
○埴保己一学園の生徒、小学生の児童双方にとってお互いを理解し合える貴重な時間となった。 ○障がい者スポーツについての理解を深めることができた。	○年齢の近い生徒との交流を通して、障がいに対する理解が深まりやすい。
	“次代に語り継ぐ”ポイント ○障がいがあろうと、その障がいにあったスポーツが存在し、気持ちよく汗を流せることを知ることができる。